

次年度の準備を着実に！

国内各地で新型コロナウイルス感染症の発症者が次々と確認されています。新型コロナウイルス感染症に関して、様々な人権侵害が報道されています。「新型コロナウイルスよりも人の意識の方が怖い」とインタビューに答えていた人もいました。

私たちは、西日本豪雨災害の経験を通して「人の絆の強さと大切さを学びました。今こそ、つらい思いをしている人の立場に立ち、「思いやり」の行動でこの危機を乗り越えていきたいものです。

大変な状況の中ではありますが、9年間の義務教育を修了し、生徒はそれぞれの道に進んでいきます。自分たちが選択した進路に向け、しっかりと歩を進めてほしいものです。生徒たちの有終の美を期待しています。

例年であれば、この時期に学年末懇談会を実施していた学校も多かったのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、3学期の学年末懇談会を中止された学校も多いと思いますが、何らかの形でそれぞれの成果や課題を伝え、保護者の協力を得ながら、次年度に向けてしっかりとした準備をしていたきたいと思います。



【 免許教科以外の教科を担当する許可申請について 】

次年度提出文書の中で、提出を急いでお願いしているものの一つに、免外申請があります。令和2年3月2日付 元教南第964号「令和2年度当初の免許教科以外の教科を担当する許可申請について」にて連絡しています。

中学校では、授業を開始するまでに「免許教科以外の教科を担当する許可申請」の手続きを行い、県教委の許可を受けるために、該当校には至急の対応をお願いしています。授業開始に間に合うように、また生徒に大きな影響が及ばないように確実な申請対応をお願いします。各学校から事務所への電子データの提出締め切りを**4月2日（木）正午**としています。

市町教委から事務所への書類提出締め切りが、かなりタイトなスケジュールとなっています。生徒に大きな影響が及ばないように、授業開始に間に合うためには、また確実な申請が必要となることをぜひともご理解ください。

また、申請に当たっては、「安易な免外申請を行わないこと」「免外申請の可否条件」について、更に「書類作成上の留意事項」も通知文書に細かく示されていますので、しっかりと確認の上申請してください。



【 次年度提出物依頼について 】

同じく年度初に提出を依頼するものに「**教職員名簿**」と「**教職員写真**」があります。学校現場においては、提出後に利用する機会の少ない資料かもしれませんが



誤った情報で提出されると、数多くの書類に影響を及ぼすため、チェックを入念に行い正確なものを提出するようお願いします。

「写真」についても「教職員一人一人の顔が重ならず、鮮明に写っていること」等の留意事項をしっかりと確認してください。



【 生徒指導に関して 】

警察庁は、2019年の犯罪情勢統計の暫定値を公開しました。それによると、児童虐待の摘発件数は、1,957件、虐待の疑いで児童相談所に通告した子どもの数が97,842人だったということです。児童虐待の摘発や警察からの児童相談所への通告は過去最多を更新しています。

児童虐待については、「増加分の多くは、暴言などの心理的虐待だった」とのことです。一方、児童ポルノ事件も過去最高を記録し、子どもがコミュニティーサイトで知り合った相手に騙され、自分の裸の画像を送ってしまう『自撮り被害』が依然として多いということでした。

どちらの内容も、見過ごせない案件です。各学校においても、十分に気を付けていることと思いますが、事案の未然防止・早期発見について周知徹底を図ってください。発生時の対応については、関係諸機関との連携が必要となってきます。そのあたりの確認もよろしくお願いします。

【 あの日を忘れない 】

東日本大震災が発生して9年が経ちました。被災地の復興は徐々に進んでいるとはいえ、被災者はまだまだ大変な思いで、生活をされていることは間違いありません。災害の影響が残り、不安が募っているという報道が常に流れています。ただ、その逆境を乗り越えようと逞しく活動を行う住民皆さんの姿には、我々も勇気をもらっています。

災害後、防災教育の必要性が強く叫ばれ、各学校においても様々な防災教育がなされ、工夫された取組も多く見られるようになってきました。南海トラフ地震の発生による災害も予想される本県にとっては、避けては通れないものとなっています。本年度入学の小学1年生は、東日本震災後に出生した子どもたちになります。

「あの日を忘れない」という思いをしっかりと伝えていかなければなりません。

